

THE KOBEC CO

DECEMBER No.320

1987 *12*月刊神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可
昭和62年12月1日印刷 通巻320号 昭和62年12月1日発行
毎月1回1日発行



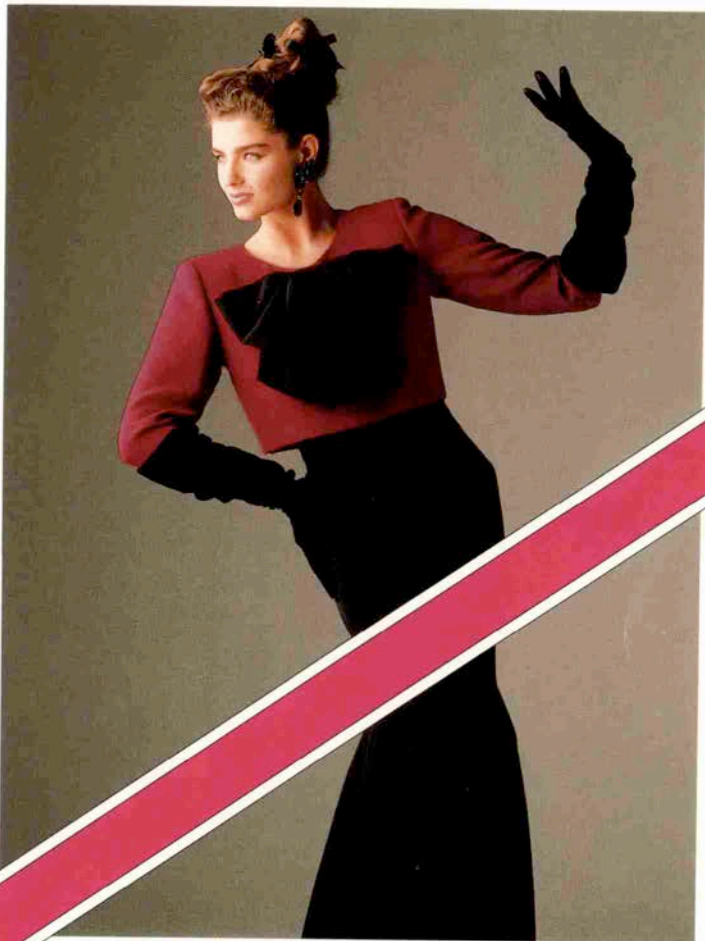
華麗なるナイトへエスコート。

— クリスチャン・ディオールのX'mas Night.

淑やかさで目立つなんて、

彼女、なかなかのパーティ上級生。

美しき主役のために、ディオールのドレスを。



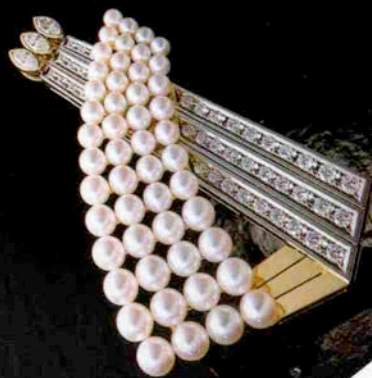
BENIYA

KOBE OSAKA TOKYO

神戸三宮 ● 本店 / ☎078-332-2135-6 ● さんちか店 / ☎078-321-2678


● エルベ店 / ☎078-332-2829 ● レノマ店 / ☎078-332-0780-0788

● クワトロスタジオネ店 / ☎078-332-4858



思わず、大人の表情をしてしまいました。

宝石たちの新世界。

 **田崎真珠**

ブローチ/アコヤ真珠、ダイヤモンド/K18、Pt/1,200,000円

●いろいろな特典のあるプラスワンカードの会員募集中です。●この広告のお問い合わせは田崎真珠㈱企画広報部(TEL078-302-3321)まで。

神戸元町からーウネ・コレクション

▶本店2F オーダーサロン

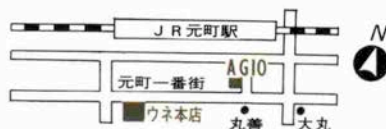


▶AGIO店
ライフスタイルに楽しめ(AGIOを)



KOBÉ OSAKA TOKYO SAPPORO

神戸新本店
神戸市中央区元町通 2 - 5 - 9
TEL(078)331-3112 FAX(078)392-8890
ウネAGIO(アジオ)店
神戸市中央区元町通 1 - 8 - 16
TEL(078)332-2800

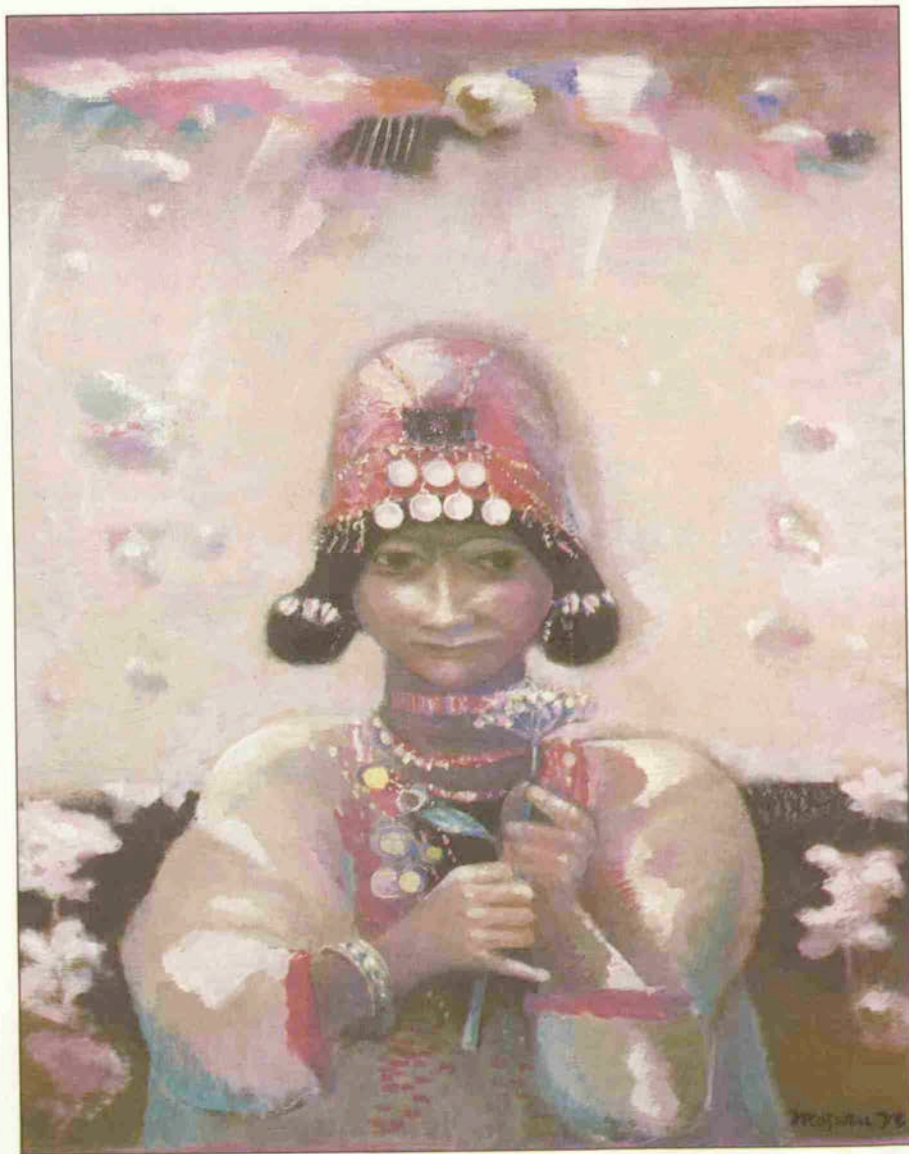


■大阪店 ナビオ阪急2階 ■東京店 東急百貨店渋谷本店・東急百貨店日本橋店・東急百貨店吉祥寺店・まちだ東急百貨店 ■札幌店 さっぽろ東急百貨店

● Second Cover

顔“シリーズ”〈12〉オアシスの女(モロッコ)
苛酷熱暑の大地の向こうに、まろやかな風景がみえて
アーモンドの満開の花が白く白く輝いていた

中西 勝 (二紀会)



いざかや
Well

21-1-11-



楽しく気ままに、コミュニケーション!

12月7日(月) OPEN! 11:00AM - 10:00PM

オープン記念
お楽しみWプレゼント

その1

開店より先着1,500名様に
しゃれた飾り絵皿を進呈

その2

開店より5日間、午後4時半より
スピードくじサービス<オリジナルテレホンカード等、>
すてきな景品がいっぱいです

三宮駅まえ(三宮ビル北館B1) ☎078(261)1861

'87 SERIZAWA CHRISTMAS COLLECTION

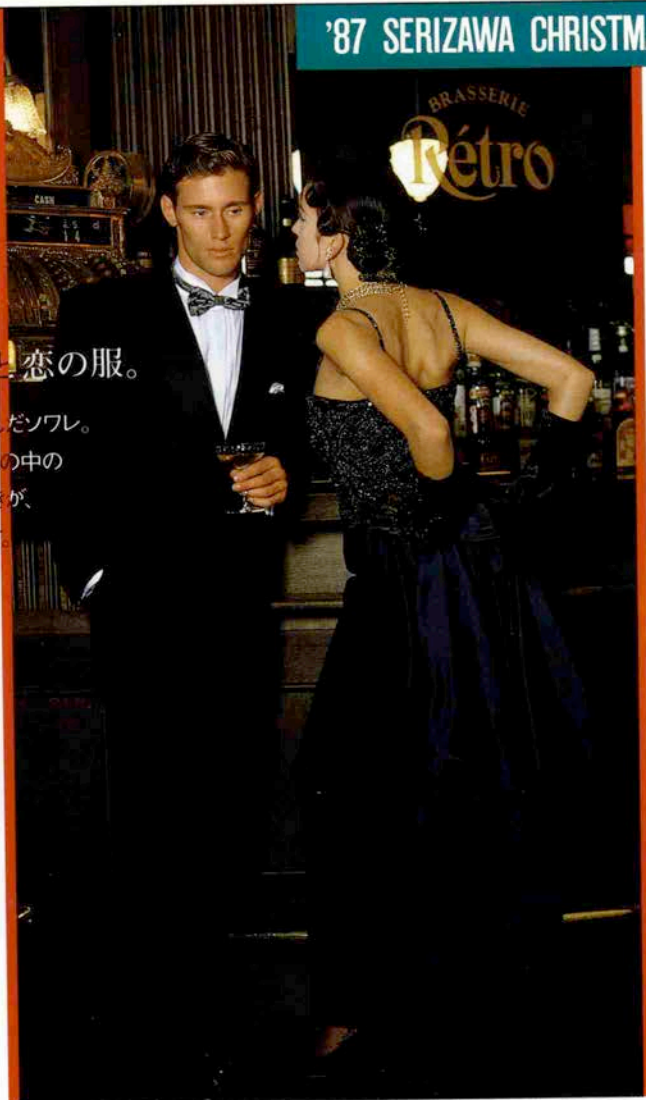
シャンパンと恋の服。

今宵のために選んだソワレ。
スワングルとグラスの中の
小さな泡のきらめきが、
甘い夢に誘います。



serizawa

KOBE



夢、ひろげて。
1枚のカードから。
お洒落のための特典いろいろ。

〈セリザワ・カード〉



■本店 神戸市中央区三宮町3-1-8 TEL.078-331-1695 ■さんプラザ店 ■センター街店 ■さんちか店 ■P-4ショップ ■メンズセリザワ KOBE・OSAKA・TOKYO・KYOTO・HIMEJI



二人だけの聖夜……
「夢の中でも逢えたらいいね」

Tajima
宝飾店 タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761 代表

美人アーチストは動物がお好き

——垣花洋子（ピアノ歌手）カミヤ・池田年夫

毎年行われる「神戸秋の芸術祭」。今年は「神戸でオペラを」という企画で、神戸市民文化振興財団他の主催による4本のオペラが上演された。その中の一本「フィガロの結婚」において、フィガロの花嫁役サザナを演じたのが垣花洋子さん。同オペラはWキャストだが、10月9日（金）の舞台に出演した。

垣花さんは神戸生まれ愛知芸大音楽部卒、同大学院を修了後、各種コンサートに出演のかたわら、いくつかのコンサートに入賞・入選。オペラは3作目の出演となる。今後は、ソロもオペラもやって行くつもりでいます。ただ、日本には専門的なオペラ劇場が全くないんです。だからオペラをやりたくても、その機会がなかなかなくて。総合的なオペラ劇場が一つ出来ることによって、オーケストラや舞踊、美術等、色々な分野の人々の若い芽が伸び、育つ場を得られることになるんですけれど。何とか実現に向けて努力したいと思っています」と垣花さん。

10月22日（水）には、神戸市立博物館でヴィラ・ロボスの曲を歌い、12月27日（日）には、大阪の『ザ・シンフォニーホール』で、京都市交響楽団（小林研一郎指揮）と伴に「第九」を歌う、現在、全国的に美人アーチストが話題になっているが、神戸からも一人、ここに誕生した。

（六甲牧場にて）



12月のサウナノート

素肌の輝きは、
宝石に負けない
アクセサリーの
ひとつです。

胸もとや背中に大胆なカット
イングをほどこした、パーティ
ードレス。自信をもって着こなし
てください。

ハーブ(薬草)をつかったサウナ
とエステティックが新

陳代謝を促して、

魅惑的なすべすべの

お肌づくりをお手伝いします。

ハーブ
まず、薬草浴で

心とからだをリラックス。

サウナコース ————— 1,900円

サウナ・ハーブ(薬草)サウナ・

ハーブ(薬草)バス・冷水超音波バス・

温水パイプバス・マッサージシャワー

学生割引 ————— 1,600円

深夜割引(夜12時～夜3時) — 1,200円

ハーブ

薬草浴のあとなら、より効果的です。

オイルマッサージ ————— 5,500円

ボディ・パラフィンパック ——— 6,000円

薬草パック美顔 ————— 4,500円

グリーンパック美顔 ————— 4,500円

パラフィンパック美顔 ——— 4,500円

エステティック・ツイン ——— 9,000円

(美顔と全身のオイルマッサージをトータルに)

サウナとエステティック

神戸 レディスサウナ

神戸三宮・生田新道ワシントンホテル向かい

営業時間 朝10時～夜3時 年中無休

TEL 078・321・4742

年末は30日まで
新年は
元旦より営業



東灘の文化の中心にしたい――

加藤裕三

＜A-Z CORPORATION＞カメラ・池田年夫

東灘区J R西日本住吉駅のすぐ南に「リリパットハウス」という、非常にユニークな建物が8月4日にオープンした。子供服の専門店やパン屋さん等、複雑に入り組んだ建物の中に、一風変わった店が並ぶ。その一角に9月10日オープンしたのが加藤裕三さんが主催する「アゼ・コーポレーション」。

「アゼ・コーポレーション」は造形教室等、自由に使える空間を持った約15坪のスペースの「アゼ・フリースペース」と、手作りの木製玩具やセーター等を販売する実験店「アトリエA」の2部屋に分かれている。

もともとは「綜オフィス」という、オリジナル製品や商品規格を行う会社を芦屋で開いていたが、より可能性を求めて住吉へ。「この「フリースペース」を自由に使って、東灘の文化活動の中心になりたいですね。今は、造形教室を開いています、ユニークなアイデアで、この空間を生かす人やグループを募集しています。」と加藤さん。

また「綜オフィス」も、一層頑張るつもりです。夢は、公園等の野外遊具を設計、製作することです。親身になってやりますから、誰か注文を下さい(笑)。とも。銀行の週休2日制の施行によって、企業の休日が増えます。余暇の利用法が大事になる将来、こういった場所が、必要となることは間違いない。「アゼ・フリースペース」にて





ある集い□音楽の家

神戸にシャンソンの花は
咲きつづけて

堀 郁子

神戸文化ホール(中)で幕を開けた「音楽の家」シャンソンコレクシヨン第一部、パリコレクシヨンでは、エッフェル塔、凱旋門、街灯、そして白いベンチ、パリの風景のバックで静かに「パリの空の下セーヌは流れるのコーラス、そして一転して「パリの橋の下」、ユニークな、ひげのルンペンあり、ベレーの青年あり、そして赤毛の女やパリの少女が歌う色々な懐かしいパリのシャンソンを集め、自分をその中に置いて見るフランスでは黒一色の歌手、グレコ、ピアフ、ダミア等多くの歌手がいるが、神戸のシャンソンは何色でもよく似合う、明かるく楽しく華やかに、そしてその中に哀愁もある。

「音楽の家」シャンソンコレクシヨンは、堀郁子リサイタルと共にそれぞれ二十回目を迎えた。

今年は特にシヨール形式を試みたマダム、マドモアゼル、そして今回は唯一人のムッシュの出演。

レッスンは異なるけど、それぞれの場においてグルーブごとに曲を盛り上げて一つのステージを作り上げ大盛況だった。トアロード・センター街西入口のプチシャンソンソニエ「音楽の家」エトワは、ピアノカウンターの回りで堀郁子のシャンソンの弾き語りをくつろいで楽しんで頂ける家。今宵も歌声は華やかに流れる。

■音楽の家エトワ

神戸市中央区三宮町3-8-12 スカイシア3F
TEL 078-3332175

日本木琴協会阪神支部30周年記念
マリンバコンサート



ある集い□日本木琴協会

神戸はマリンバの音色が
似合う街

佐藤梨栄

日本木琴協会阪神支部が発足して、本年三〇年を迎えました。この会は、マリンバの愛好家の集りで、アマチュアからプロまで、また、幼児より一般まで幅広い層で構成されており、現在会員数八〇名です。

三〇年という節目なので何か記念になるイベントをと、二年前から準備して、九月一五日神戸文化(中)ホールにて、「マリンバ・コンサート」を開催しました。

有料のコンサートでしたのでどのくらいお客様が入るのか心配していましたが、開場の一時間前には、もう長蛇の列でびっくりするやら、驚くやら、うれしい悲鳴をあげました。

満員のお客様の前で、演奏できる事は、演奏家にとってはおおきな喜びと励みになります。

東京より会長の朝吹英一ご夫妻もご来神され、会に花を添えてくださいました。

マリンバの音色に魅せられて集ったメンバーたち。

これからもジャンルにとらわれない音楽を作っていこうと出演者一同張り切っています。

■問合せ先


神戸市中央区熊内町1-4-20

(佐藤梨栄方)

日本木琴協会阪神支部

☎(078) 241-0921

I♥NEW YORK I♥SANTICA

エキサイティングな街、
ニューヨークへ  50名様

3,000円お買い上げごとに1回抽選できます。

★特賞 ニューヨークご招待(8日間).....20名様

★A賞 ニューヨークご優待(10万円ご負担).....30名様

※このほかクリスマス賞などあり。また、空くじ3本でクリスマスグッズ進呈。(空くじあり)

ハロー/アメリカンドリーム 12/25金まで
さんちかXMAS オン・ステージ

ところ さんちかvisionシアター

主な出演者/倉田れい 石田えり 江藤 潤

神戸放送児童合唱団 鈴木聖美 ベティ沢田

さんちかホール

●'87神戸 韓国フェア

11/26(木)→12/1(火)

●'87武蔵美展

12/3(木)→12/8(火)

●第32回新聞・通信・テレビ

ニュース報道写真展

12/10(木)→12/15(火)

●'87兵庫県写真作家協会展

12/17(木)→12/22(火)

●'88カレンダー展

12/24(木)→12/28(月)

ギャラリーさんちか

●ブータンの人とまち

11/26(木)→12/1(火)

●ヤングクリエート展

12/3(木)→12/8(火)

●萌写友展

12/9(木)→12/13(日)

●第26回ロバの会作品展

12/14(月)→12/18(金)

●日本水彩画会兵庫支部小品展

12/19(土)→12/23(火)

●木曜会写真展

12/24(木)→12/28(月)

さんちかXMAS 年 内 無 休
12/1(火)→25(金)

年末営業時間
延長のご案内

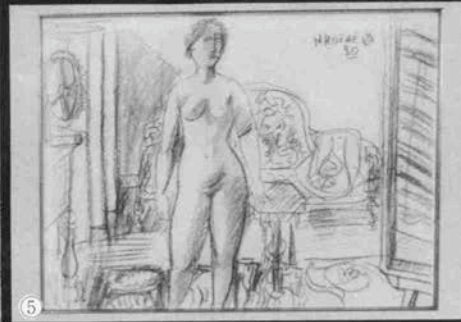
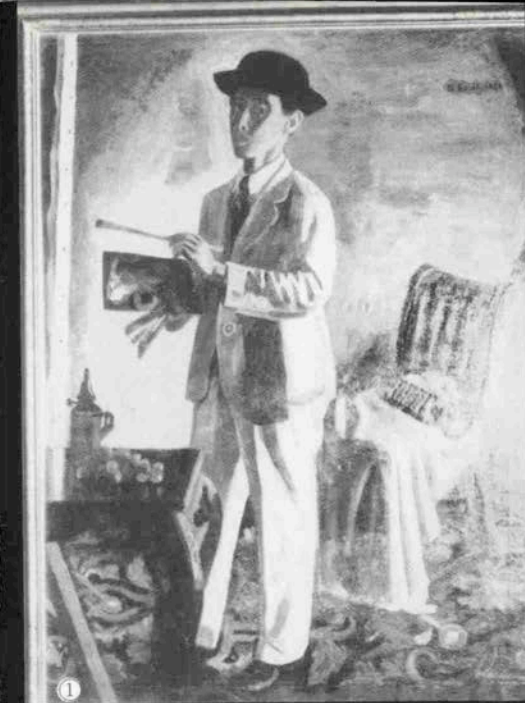
★物販店 12/12(土)→12/25(金) PM8:30まで

★フードパレット、スイーツメイト 12/12(土)→12/30(木)

PM8:30まで(グルメスクエア、レストランモールはPM9:00まで)

★12/31(木)は全店PM7:00で閉店させていただきます。

santica
The New Heart of Kobe 神戸・三宮さんちか



①「帽子を冠れる肖像」②画伯が生前愛用していた家具類など③開会式で挨拶する金井元彦・兵庫県立近代美術館館長と④奥尾幸一・朝日新聞大阪本社編集局長⑤「裸婦」⑥「芸術家の家族」⑦開会式で挨拶する遺族の人たち（左／長男の小出泰弘さん 中央／小出重子未亡人）⑧若き日の小出画伯

●コウベスナップ

日本近代絵画の明星 小出檐重 生誕100年記念展

明治22年に生まれ、昭和6年、わずか44歳で世を去った天才画家小出檐重。絵画はもちろん、随筆や映画に至るまでさまざまなジャンルに独自の境地を切り開き、日本の近代的美意識の成立において残した功績は計り知れない。その小出檐重の生誕100年を記念しての大回顧展が10月31日から11月29日まで、兵庫県立近代美術館において開催されている（主催は同美術館、朝日新聞社、伊藤文化財団）。会場には、少年時代から晩年に至るまでの作品を6つの時代別に整理、画伯の画業の展開にそって展示されている。

小磯良平画伯作

ステンドグラス小史

頌栄保育学院 理事長・院長 今井 鎮雄

このたび、チャペルではなく、頌栄短大の玄関であるピロティに、ステンドグラスを設置という耳なれない工事を施行したが、ここにその小史を書き留めておこうと思う。

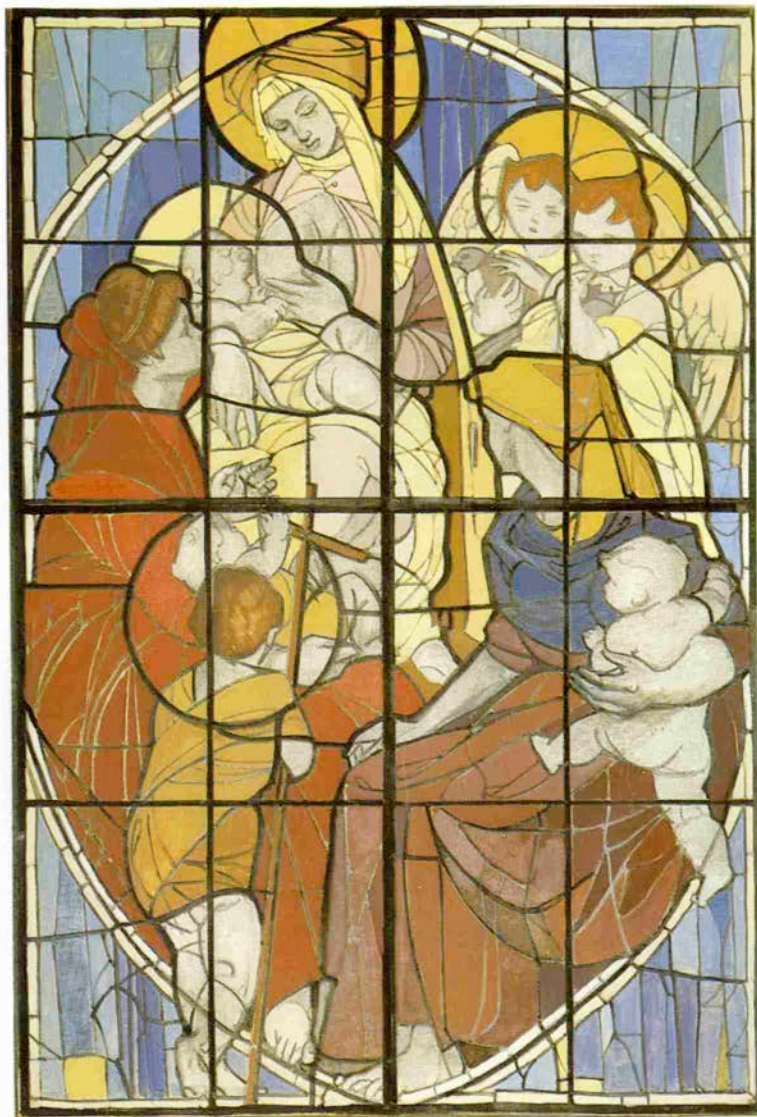
頌栄と小磯良平画伯との関わりは、戦時中の昭和十六年に始まる。元学長の横田栄三郎先生が、戦時下に、ややもすればさぶ小学生の心を、本物に接することで和わらげようと、絵画に小磯良平画伯をお願いされた。敗戦後はそのことで学生はどれだけ励まされたことであろう。

昭和二十三年頃から、小磯画伯も御多忙となり、特講でお願いすることとなり、授業は今も来て下さっている西村元三朗先生が来て下さることになった。

ステンドグラスの下絵は、昭和三十四年、頌栄の創立七十周年の際、チャペル建築の話が出た時に、頌栄のチャペルのためにお画き下さったものです。以来、チャペルが建つまでと、小磯先生はアトリエにずっと保管して下さっていたのです。頌栄を思ったださる熱いものを覚えます。

昭和五十四年、中山通りから現在地に移転し、創立九十周年をお祝いしました。当時の涌井院長は、何とかチャペルを建築するまでの間、大講義室にチャペルの機能を持たせようと、私や岩井先生とも相談され、小磯画伯にお願いされました所、掲額するならば少し色を改めたいとのことで、現在のものにして下さったのです。そして昭和五十五年七月に、田中忠雄画伯の絵と共に、頌栄短大の大講義室に掲額をいたし、小磯画伯、田中画伯もお揃いで掲額式をとり行いました。

今回、私は、チャペル建築を待っていたのではかなり先になると思います、小磯画伯のお元気な間に、何とかステンドグラスにして、御一覽願おうと、ステンドグラスの制作を先行するように命じました。本年十月二十三日に設置完了し、十月二十八日、礼拝の中で、学内だけです、お祝いをいたしました。下画をお画き頂いてから、何と二十八年を経過いたしております。頌栄とはこういう風に色々な方々の祈りに支えられている学校かと、つくづく思い知らされた感で一杯です。今はひたすら小磯画伯の快愈を祈り、御一覽頂きたい思いで一杯です。



原画 小磯良平画伯

題名 「幼な子イエスとヨハネ」

制作 アトリエ・スランドグラス

デュルト・森本、康代

サイズ タテ2・1 ヨコ1・4